

世界水準の発明をしよう





## ご挨拶

Top message

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

人口減少の観点からFA（ファクトリーオートメーション）に代表される機械化・自動化が求められる中、当社が製造する「機械要素部品」の需要は高くなっております。

当社の製品はすべて自社で設計・製造を行い、

主力製品である減速機をはじめ国内外で特許を取得している製品も数多く製造しております。

自由闊達な製品開発は経営理念の「新規有用なるものを創造提案し、求められる品質性能に育て上げ、広く長く愛される製品を提供する」ことの実現には不可欠であり、創業時から変わらぬ考えです。

独創性を活かした開発を続けることで、お客様への課題解決や社員の幸福追求、

そして世界のものづくり・地域社会への貢献を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長  
今瀬 玄太

小さいころから歯車やからくりが好きだった創業者で会長の今瀬は、ものづくりを極めるべく工業高校に進学。その後エンジン用気化器メーカーに就職します。ここで機械設計の基礎を学ぶと同時に、ゼロから行うものづくりと現場の課題解決を助ける楽しさを知ります。

発明ともいえるものづくりに没頭する中、上司から声がかかり自動車メーカー傘下のサプライヤーで勤務することになりました。これが大きな転機です。

このサプライヤーでは基本的に言われたことだけをやるのみ。課題解決のための提案は喜ばれません。これが本当にやりたい仕事なのか？今瀬は悩みます。

下請け仕事ではなく開発メーカーとして、自由な発想と創意工夫で現場の課題を解決したい。彼の信念を実現すべく、自宅にプレハブ小屋を作り、機械設計事務所を立ち上げました。このプレハブ小屋が当社の前身です。

彼が目指したのは「開発メーカー」として実現されていない機械を作ること。目標達成に向けて毎日お客様の工場に足を運び、構想を練り、仕事漬けの日々を送ります。この中で、かつて感じた“ものづくりの醍醐味”を思い出していました。

この時抱いた「開発メーカーであり続ける」という思いは、創業以来現在に至るまで当社の基礎として脈々と受け継がれています。

試作を繰り返し完成した初の自社製品・ミニデックス。この開発だけでは満足せず、ボール減速機・TCGランナーと時代の潮流に合わせて次々と新製品を創り出します。とくにボール減速機は精密工学会賞を受賞し、今でもご注文を頂くロングセラー製品です。

時には受注件数が100倍になる大型案件の依頼が舞い込んだことも。会社の発展のためには受注すべきでしたが、この量と製品単価では下請けになってしまう。創業時からの目標を守り抜くべく、この依頼は断りました。

自主独立したメーカーとしての地位を確固たるものとし、当社のエンジニアたちが自由な発想で新しい技術と製品を今もなお設計・製作中です。

プレハブ小屋で今瀬が夢見た姿を、今、実現できています。



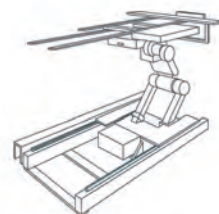
# 製品の使用事例

Product

## TCG (トロコイドカムギヤ)

カムラック&ローラピニオン CRA&CPA / CRC&CPCシリーズ

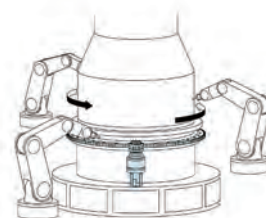
用途例 ディスプレイメーカーのガラス搬送機



低振動という特性は繊細な素材を扱う工程の機械にも重宝され、搬送中の破損リスク低減による生産コスト改善にもつながります。また低発塵のため、チリやほこりを嫌う精密品の生産をおこなうクリーンルーム内での稼働にも対応しています。

フルリング&ローラピニオン RGF&CPA / RFC&CPCシリーズ

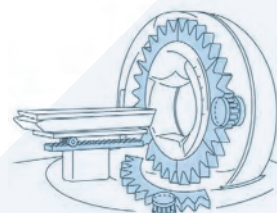
用途例 アミューズメントパークのアトラクション



「コーヒーカップ」のような、不規則な回転動作を行う装置に多く使用されています。作動時の歯打ち音や振動が非常に少ないため、ファンタジックな世界観を大切にしているテーマパークへの遊具にも導入されています。

分割リング&ローラピニオン RGD&CPA / RDC&CPCシリーズ

用途例 医療用CTスキャン・MRI検査装置



がん等の画像診断に用いられる検査機器の内部に使用されています。人体に放射線を照射し、内部構造を調べる装置なので、シビアな位置決め精度が求められます。また、検査を受ける患者さんを不安にさせない稼働時の静音性も求められます。

## ボール減速機

超薄型差動減速機 PSRシリーズ

用途例 パワースーツ(運動補助装置)



人体に装着することで、運動機能を高める機械です。医療・介護分野のほか、物流・農業といった領域でも活用されており、業務負荷軽減や労働災害の防止に役立っています。薄型・計量・低騒音という製品特徴が活かされています。

# グローバル展開

Global



当社が開発している機械要素部品の需要は国内に限りません。海外でも数多くの納入実績があります。

特に歯車ではなくスチールボールを使って駆動するボール減速機は世界初の技術ということもあり、世界10カ国以上で特許を取得。

FA機器、FPDパネル生産設備、自動車産業、航空機産業、半導体生産設備、医療機器など

各業界の省人化・生産ラインの高度化に寄与しています。

1990年代からアメリカ・韓国・台湾で商品販売をスタート。

1998年には韓国に連絡事務所を、2005年にはアメリカの機械商社とライセンス契約を結び、

2006年には中国でも連絡事務所を設立しました。

2020年に韓国と中国の連絡事務所を現地法人化し、海外販売網強化に努めています。

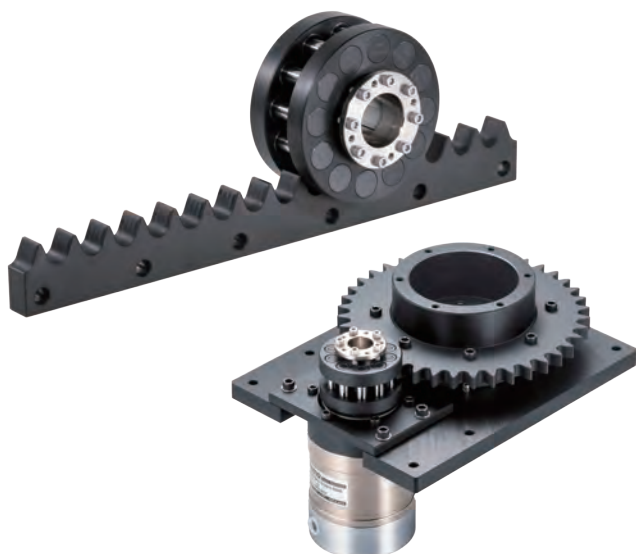
生産力強化に向け、2020年に島根県出雲市に工場を新設。

今後は株式公開、売上30億円実現を目標とし、積極的に新製品を開発・市場に投入し続けます。

創業から守り続けている「自主独立した開発メーカー」であり続け、今後もオンリーワンの製品で未来を拓いていきます。

# 製品紹介

## Product



### TCG (トロコイドカムギヤ)

ローラピニオンが常時2～3か所接触しているため、バックラッシが発生しないラック&ピニオンです。  
高精度かつ低騒音、給油不要でメンテナンスの手間も少なく長尺・高速駆動も可能。  
新発想の直線・曲線駆動システムが搭載できます。

- ・世界7カ国特許取得
- ・発明大賞考案功労賞受賞
- ・中日産業技術賞受賞

カムラック&ローラピニオン CRA&CPA / CRC&CPCシリーズ  
フルリングユニットRGUシリーズ



### ボール減速機

歯車ではなくスチールボールを搭載した減速機です。  
歯車を使わないためバックラッシが発生しないだけでなく、高剛性・高精度・低騒音を実現。  
当社ではボール減速機、装置のコンパクト化にも最適な薄型差動減速機を製造しております。

- ・世界12カ国特許取得
- ・科学技術庁長官奨励賞受賞
- ・精密工学会賞受賞
- ・グッドデザイン賞受賞
- ・発明大賞考案功労賞受賞

薄型ボール減速機 JFRシリーズ  
超薄型差動減速機 PSRシリーズ



### インデックス (割出機器)

当社創業の礎となったオリジナル製品第一号であり、複雑な操作を簡単に制御できる割出機器です。  
シンプルな構造で使いやすく、高精度・低コストを両立。  
メンテナンスも簡単です。

- ・発明大賞持田発明功労賞受賞

エアインデックスシリンダ MDFシリーズ  
パールデックス PDWシリーズ

# 会社概要

## Company

1980年	10月	現会長、産業用空圧機器の製造販売を目的に、資本金150万円で加茂精工株式会社設立所在地は豊田市柿本町
1985年	5月	資本金を600万円に増資、隣地に工場建設
	12月	世界初の「ボール減速機」の試作に成功
1986年	1月	山梨大学牧野洋教授、精密工学会にて、ボール減速機の理論発表
	7月	ボール減速機の研究開発に対し、通産省より技術開発補助交付企業に認定
1987年	5月	ボール減速機の商品化及び発売
1988年	2月	ボール減速機が第13回発明大賞考案功労賞を受賞
1988年	10月	ボール減速機がアメリカ特許を取得
1989年	3月	ボール減速機が平成元年精密工学会賞を受賞
1990年	4月	資本金を2,000万円に増資
	5月	愛知県西加茂郡藤岡町に新本社、工場を建設し、全面移転する
1994年	4月	資本金を3,500万円に増資
	11月	ボール減速機、科学技術庁長官賞受賞
1995年	3月	アメリカにて初の展示会開催(シカゴ展)
1996年	3月	ボール減速機が日本の特許を取得
1997年	2月	資本金を8,500万円に増資
1998年	1月	直線駆動装置「TCGランナー」発売
	2月	「ボールカム割出装置」が第23回発明大賞持田発明功労賞を受賞
	3月	韓国ソウルに連絡事務所を開設
	5月	愛知県創活法企業に認定
2000年	1月	「TCGランナー」日本国特許取得(5カ国取得済)
	12月	本社隣地に工場用地取得
2002年	1月	「TCGランナー」が中日産業技術賞を受賞
2003年	2月	「TCGランナー」が第28回発明大賞考案功労賞を受賞
2004年	2月	愛知県「愛知ものづくりブランド企業」認定
2005年	7月	米国Nexen Group, Inc.社とTCGシリーズのライセンス供与契約
2006年	10月	中国南京に絡事務所を開設
2007年	6月	経済産業省「元気なものづくり中小企業300社」に選出
	8月	ボール減速機が経済産業省「ものづくり日本大賞」優秀賞を受賞
2009年	8月	第3工場竣工・稼働、TCGシリーズ増産化
2010年	8月	韓国連絡事務所を「KAMO FA」とし現地法人化(100%子会社)
2012年	10月	「SFP」がグッドデザイン賞を受賞
2014年	1月	今瀬玄太 代表取締役社長 就任、今瀬憲司 取締役会長 就任
2016年	6月	NHK総合テレビ「超絶 凄ワザ!SP 究極の歯車対決～小型モーターで冷蔵庫を持ち上げろ!」に出演
2018年	5月	小さな工場のものづくり魂 ～画期的な自社製品で市場を席卷する～を発刊
2019年	10月	中国連絡事務所を「加茂伝導科技(南京)有限公司」とし現地法人化(100%子会社)
	11月	会長今瀬憲司が秋の受勲「旭日単光章」を受賞
2020年	6月	島根県出雲市東部工業団地に国内2番目の製造拠点、出雲工場が竣工・稼働

社名 加茂精工株式会社

資本金 8,500万円

本社所在地 〒470-0424  
愛知県豊田市御作町亀割1166番地

代表者 代表取締役 今瀬玄太

設立 昭和55年10月1日

事業内容 TCGシリーズ、ボール減速機、  
インデックスなどの機械エレメントの開発・製造販売

## 加茂精工株式会社

本 社	〒470-0424 愛知県豊田市御作町亀割1166番地 Tel. 0565-76-0021 (代表)
出雲工場	〒691-0074 島根県出雲市小境町1700-2 (出雲市東部工業団地内) Tel. 0853-67-9121
韓 国	KAMO FA 1Dong-216Ho 'IT Castle' Gasan-dong, Geumcheon-gu, Seoul, Rep of KOREA (Zipcode : 153-768) Tel. +82-2-761-5621 / mail kamofa@hanmail.net
中 国	加茂伝動科技 (南京) 有限公司 南京市秦淮区太平南路166号远洋国际中心北区3幢1单元901室 邮编: 210001 Tel. +86-25-5223 0890 / mail ztc@kamoasia.com

コーポレートサイト



採用サイト



[www.kamo.co.jp](http://www.kamo.co.jp)